



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社スズケン 上場取引所 東・名・札
 コード番号 9987 URL http://www.suzuken.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮田 浩美
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員財務経理部長 (氏名)野原 正伸 (TEL)052-961-2331
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-----------|------|-------|-------|--------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 1,046,912 | △0.8 | 6,246 | △3.0 | 10,798 | △1.6 | 7,120 | 9.0 |
| 29年3月期第2四半期 | 1,055,174 | 1.9 | 6,442 | △34.9 | 10,972 | △23.4 | 6,534 | △28.4 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 9,705百万円(111.5%) 29年3月期第2四半期 4,588百万円(△21.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 74.80 | — |
| 29年3月期第2四半期 | 65.91 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 1,169,374 | 396,718 | 33.9 |
| 29年3月期 | 1,109,012 | 396,496 | 35.7 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期396,102百万円 29年3月期395,944百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 27.00 | — | 27.00 | 54.00 |
| 30年3月期 | — | 27.00 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 27.00 | 54.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----------|------|--------|-------|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,100,000 | △1.3 | 10,300 | △45.0 | 19,000 | △31.6 | 12,100 | △43.2 | 125.23 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 30年3月期2Q | 103,344,083株 | 29年3月期 | 103,344,083株 |
| 30年3月期2Q | 8,647,229株 | 29年3月期 | 6,721,683株 |
| 30年3月期2Q | 95,199,610株 | 29年3月期2Q | 99,134,755株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (重要な後発事象) | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社グループは、新たな3ヵ年の中期成長戦略「One Suzuken 2019」を策定し、本年度よりスタートいたしました。中期ビジョンで掲げたNumber One「顧客信頼度最大化への挑戦」、Only One「唯一無二のビジネスモデル」、One Point Improvement「生産性向上による販管費率の改善」、One Group「共通の基盤、共通の価値観」の4つの「One」の実現に向けて、お得意さまの真のニーズの追求と対応、さまざまな企業との協業による新たな機能やビジネスモデルの構築、さらに、グループ一体での生産性向上と低コスト体制への改革により、更なる企業価値向上を目指しております。

当第2四半期連結累計期間においては、新薬剤管理システムである「キュービックス」の管理用冷蔵庫の開発・製造・運用などを共同で行っているヤマト科学㈱と資本業務提携を行いました。製薬企業や医療機関、保険薬局、患者さまへの新たな価値を創造するために、革新的な製品とサービスの開発を両社で推進してまいります。

また、激変する環境のなかで、グループ一体での業務改革による生産性向上とコスト構造改革が喫緊の課題であり、その対応として、当社および子会社において希望退職者を募集しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1兆469億12百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は62億46百万円（前年同期比3.0%減）、経常利益は107億98百万円（前年同期比1.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は71億20百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

| セグメントの名称 | | 平成29年3月期 第2四半期累計期間 | 平成30年3月期 第2四半期累計期間 | 増減率(%) |
|-------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|--------|
| 医薬品卸売事業 | 売上高 | 1,007,733 | 1,000,855 | △0.7 |
| | 営業利益 | 4,369 | 3,756 | △14.0 |
| 医薬品製造事業 | 売上高 | 32,242 | 27,149 | △15.8 |
| | 営業利益 | 2,065 | 828 | △59.9 |
| 保険薬局事業 | 売上高 | 47,874 | 48,838 | 2.0 |
| | 営業利益 又は 営業損失(△) | △183 | 1,229 | — |
| 医療関連サービス等事業 | 売上高 | 21,276 | 24,811 | 16.6 |
| | 営業利益 | 208 | 465 | 122.7 |

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

医療用医薬品市場は、抗悪性腫瘍剤市場の拡大があったものの、後発医薬品使用促進およびC型肝炎治療剤市場の縮小の影響により、マイナス成長であったものと推測しております。

そのようななか、売上高は、主にC型肝炎治療剤の販売減少により減収となりました。しかし、継続して取組んでいるスマイル活動（顧客信頼度最大化への挑戦の取組み）の成果は着実にあがっているものと考えております。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めるとともに、流通改善の取組みとして、個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉を徹底し、適正利益の確保に注力したものの、減収の影響などにより減益となりました。

また、卸物流を担う「西神物流センター」が平成29年4月より稼働し、同じ建物内にメーカー物流・輸配送ターミナルを有した業界初となる併設型複合センターとして本格稼働しております。

さらに新薬剤管理システムである「キュービックス」については、東名阪を中心に導入を開始しており、高額医薬品や希少疾病薬の新たな流通モデルの構築に取り組んでおります。

これらの結果、売上高は1兆8億55百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は37億56百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

(医薬品製造事業)

売上高は、DPP-4阻害剤「スイニー錠」、高尿酸血症・痛風治療剤「ウリアデック錠」など糖尿病関連商品を中心に販売促進に努めたものの、平成29年6月に糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の後発医薬品が上市されたことやニュートリション事業譲渡の影響などにより、減収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、減収の影響により減益となりました。

これらの結果、売上高は271億49百万円（前年同期比15.8%減）、営業利益は8億28百万円（前年同期比59.9%減）となりました。

(保険薬局事業)

売上高は、M&Aおよび新規出店や、薬局のかかりつけ機能強化の取組みによる技術料収入の増加などにより、増収となりました。

営業利益は、増収効果および販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより増益となりました。

これらの結果、売上高は488億38百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は12億29百万円（前年同期は1億83百万円の営業損失）となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、メーカー支援サービス事業（医薬品メーカー物流受託・希少疾病薬流通受託）の受託が増加したことにより増収となりました。

営業利益は、メーカー支援サービス事業および介護事業における増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は248億11百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益は4億65百万円（前年同期比122.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ603億61百万円増加し1兆1,693億74百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ637億62百万円増加いたしました。これは主に、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、買掛金の支払が月初となった影響で現金及び預金が604億84百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ34億1百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が12億52百万円、無形固定資産が16億9百万円、投資その他の資産が5億38百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ601億39百万円増加し7,726億56百万円となりました。これは主に、未払法人税等が29億25百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が623億90百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億22百万円増加し3,967億18百万円となりました。これは主に、自己株式の取得等により68億77百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を71億20百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました予想数値の変更はしておりません。

なお、10ページおよび13ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)、(重要な後発事象)」に記載のとおり、特別利益および特別損失の計上が見込まれますので、通期の連結業績予想の修正を行う場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 108,276 | 168,760 |
| 受取手形及び売掛金 | 497,929 | 499,238 |
| 有価証券 | 32,162 | 34,807 |
| 商品及び製品 | 141,373 | 143,548 |
| 仕掛品 | 3,387 | 3,196 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,281 | 2,783 |
| その他 | 36,886 | 35,338 |
| 貸倒引当金 | △2,545 | △2,158 |
| 流動資産合計 | 821,753 | 885,516 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 121,809 | 120,556 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,898 | 1,565 |
| その他 | 15,573 | 14,297 |
| 無形固定資産合計 | 17,471 | 15,862 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 119,410 | 118,507 |
| その他 | 29,106 | 29,465 |
| 貸倒引当金 | △538 | △534 |
| 投資その他の資産合計 | 147,977 | 147,438 |
| 固定資産合計 | 287,259 | 283,858 |
| 資産合計 | 1,109,012 | 1,169,374 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 652,655 | 715,046 |
| 短期借入金 | 89 | 69 |
| 未払法人税等 | 6,479 | 3,554 |
| 返品調整引当金 | 543 | 495 |
| 賞与引当金 | 8,072 | 7,314 |
| その他 | 11,985 | 12,173 |
| 流動負債合計 | 679,825 | 738,653 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 15 | 11 |
| 役員退職慰労引当金 | 542 | 534 |
| 退職給付に係る負債 | 3,270 | 3,296 |
| その他 | 28,862 | 30,159 |
| 固定負債合計 | 32,691 | 34,002 |
| 負債合計 | 712,516 | 772,656 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,546 | 13,546 |
| 資本剰余金 | 39,069 | 39,073 |
| 利益剰余金 | 326,935 | 331,447 |
| 自己株式 | △20,158 | △27,036 |
| 株主資本合計 | 359,392 | 357,031 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 42,043 | 44,547 |
| 土地再評価差額金 | △5,771 | △5,771 |
| 為替換算調整勘定 | 216 | 157 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 63 | 138 |
| その他の包括利益累計額合計 | 36,551 | 39,071 |
| 非支配株主持分 | 552 | 616 |
| 純資産合計 | 396,496 | 396,718 |
| 負債純資産合計 | 1,109,012 | 1,169,374 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 1,055,174 | 1,046,912 |
| 売上原価 | 962,245 | 956,445 |
| 売上総利益 | 92,928 | 90,467 |
| 返品調整引当金戻入額 | 626 | 543 |
| 返品調整引当金繰入額 | 507 | 495 |
| 差引売上総利益 | 93,047 | 90,515 |
| 販売費及び一般管理費 | 86,604 | 84,268 |
| 営業利益 | 6,442 | 6,246 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 259 | 186 |
| 受取配当金 | 848 | 869 |
| 受入情報収入 | 2,706 | 2,752 |
| その他 | 985 | 943 |
| 営業外収益合計 | 4,799 | 4,751 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 24 | 28 |
| 不動産賃貸費用 | 114 | 110 |
| その他 | 131 | 60 |
| 営業外費用合計 | 269 | 199 |
| 経常利益 | 10,972 | 10,798 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 64 | 22 |
| 投資有価証券売却益 | 41 | 5 |
| その他 | 15 | — |
| 特別利益合計 | 120 | 28 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 138 | 67 |
| 減損損失 | 168 | — |
| 災害による損失 | 584 | — |
| その他 | 37 | 5 |
| 特別損失合計 | 928 | 72 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,164 | 10,753 |
| 法人税等 | 3,597 | 3,567 |
| 四半期純利益 | 6,567 | 7,185 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 32 | 64 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 6,534 | 7,120 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 6,567 | 7,185 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,471 | 2,503 |
| 為替換算調整勘定 | △51 | △2 |
| 退職給付に係る調整額 | 60 | 75 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △516 | △56 |
| その他の包括利益合計 | △1,978 | 2,519 |
| 四半期包括利益 | 4,588 | 9,705 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,557 | 9,640 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 31 | 64 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,164 | 10,753 |
| 減価償却費 | 5,828 | 5,456 |
| 減損損失 | 168 | — |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △401 | △391 |
| その他の引当金の増減額 (△は減少) | △2,084 | △815 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △404 | △512 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,107 | △1,055 |
| 支払利息 | 24 | 28 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 73 | 44 |
| 災害損失 | 584 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 82,833 | △1,264 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,489 | △468 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △64,083 | 62,314 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △862 | 1,210 |
| その他 | 294 | 225 |
| 小計 | 29,539 | 75,525 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,332 | 1,316 |
| 利息の支払額 | △24 | △28 |
| 災害損失の支払額 | △506 | — |
| 特別退職金の支払額 | △6 | △68 |
| 法人税等の支払額 | △13,984 | △5,851 |
| 法人税等の還付額 | — | 1,077 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 16,349 | 71,971 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △6,382 | △5,615 |
| 定期預金の払戻による収入 | 8,477 | 618 |
| 有価証券の取得による支出 | △6,100 | △7,200 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 9,000 | 9,200 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,615 | △2,919 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 455 | 49 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,567 | △821 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △638 | △1,232 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 2,841 | 208 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △5,178 | — |
| その他 | △198 | 158 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,907 | △7,555 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △190 | △20 |
| 長期借入金の返済による支出 | △78 | △4 |
| リース債務の返済による支出 | △407 | △296 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △6,897 |
| 自己株式の売却による収入 | — | 3 |
| 配当金の支払額 | △4,162 | △2,609 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △0 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,839 | △9,824 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △23 | △3 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 9,578 | 54,587 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 108,414 | 114,345 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 117,993 | 168,933 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月11日開催の取締役会決議に基づき、平成29年5月16日付で自己株式1,931,800株（取得価額6,896百万円）の取得を行いました。

これを主な要因として、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が6,877百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が27,036百万円となっております。

(追加情報)

(希望退職者の募集)

当社は、平成29年8月28日開催の取締役会において、下記のとおり希望退職者の募集を行うことについて決議いたしました。

1 希望退職者の募集を行う理由

医薬品卸売業界を取り巻く経営環境は、後発医薬品の使用促進、スペシャリティ医薬品市場の拡大、地域包括ケアの進展など急激に変化しております。

当社グループは、2019年度を最終年度とする中期成長戦略「One Suzuken 2019」において、厳しい環境変化を新たな価値を創造する機会ととらえ、新たなビジネスモデルの構築に挑戦するとともに、業務・コスト構造改革を実践し、利益体質の強化に取り組んでおり、その一環として当社および連結子会社の一部において希望退職者の募集を行うことといたしました。

2 希望退職者募集の概要

- (1) 募集人員 当社および連結子会社3社（㈱サンキ、㈱アスティス、㈱翔薬）で350名程度
- (2) 募集期間 平成29年11月1日から平成29年11月15日
- (3) 退職日 平成29年12月31日
- (4) 優遇措置 所定の退職金規程に基づく支給に加え特別一時金を加算して支給するとともに、希望者には再就職支援を行う。

3 希望退職者募集による特別損失の見込額

特別一時金の支給等に伴う特別損失の計上が見込まれますが、応募者が未確定であるため特別損失の見込額は未定であります。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|---------------------|-----------|
| | 医薬品 卸売事業 | 医薬品 製造事業 | 保険薬局 事業 | 医療関連 サービス等 事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 983,954 | 10,370 | 47,866 | 12,982 | 1,055,174 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 23,778 | 21,872 | 8 | 8,294 | 53,953 |
| 計 | 1,007,733 | 32,242 | 47,874 | 21,276 | 1,109,128 |
| セグメント利益又は損失(△) | 4,369 | 2,065 | △183 | 208 | 6,459 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 6,459 |
| セグメント間取引消去 | △16 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 6,442 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|---------------------|-----------|
| | 医薬品 卸売事業 | 医薬品 製造事業 | 保険薬局 事業 | 医療関連 サービス等 事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 975,440 | 8,539 | 48,828 | 14,104 | 1,046,912 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 25,415 | 18,610 | 9 | 10,706 | 54,741 |
| 計 | 1,000,855 | 27,149 | 48,838 | 24,811 | 1,101,654 |
| セグメント利益 | 3,756 | 828 | 1,229 | 465 | 6,279 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 6,279 |
| セグメント間取引消去 | △32 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 6,246 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社における早期退職希望者の募集)

当社は、平成29年10月13日開催の取締役会において、下記のとおり連結子会社である㈱三和化学研究所における早期退職希望者の募集を行うことについて決議いたしました。

1 早期退職希望者の募集を行う理由

当社グループは、2019年度を最終年度とする中期成長戦略「One Suzuken 2019」において、厳しい環境変化を新たな価値を創造する機会ととらえ、新たなビジネスモデルの構築に挑戦するとともに、業務・コスト構造改革を実践し、利益体質の強化に取り組んでおります。

このような中、医薬品製造事業においても、コスト構造改革が喫緊の課題であると考えており、その一環として連結子会社である㈱三和化学研究所において早期退職希望者の募集を行うことといたしました。

2 早期退職希望者募集の概要

- (1) 募集人員 150名程度
- (2) 募集期間 平成29年12月11日から平成29年12月22日
- (3) 退職日 平成30年1月31日
- (4) 優遇措置 特別一時金を支給するとともに、希望者には再就職支援を行う。

3 早期退職希望者募集による特別損失の見込額

特別一時金の支給等に伴う特別損失の計上が見込まれますが、応募者が未確定であるため特別損失の見込額は未定であります。

(投資有価証券の売却)

当社は、平成29年11月6日開催の取締役会において、下記のとおり保有する投資有価証券の売却を決議いたしました。

1 投資有価証券売却の理由

保有する資産の効率化を図るため。

2 投資有価証券売却の内容

- (1) 売却する投資有価証券 上場投資有価証券 1銘柄
- (2) 売却時期 平成29年11月7日から平成29年12月29日

3 投資有価証券売却による特別利益の見込額

投資有価証券の売却により特別利益の計上が見込まれますが、売却価額が未確定であるため特別利益の見込額は未定であります。